

No. 1160

花と美女と

— 愛知・東山公園 —

桜の下に勢揃いした十人の美女、どちらも美しい花。

第27回中日ミスカメラの選定会は去る3月7日、名古屋市の中日新聞社ホールで行なわれました。ことしは東海三県のほか、静岡、福井、京都からも応募があり、栄冠を目指したのは74人。いづれ劣らぬ美女たちに、伊藤中日写真協会委員長らは大弱り。慎重な審査の結果、ミス・カメラに桜田順子さんが選ばれ、準ミスには森谷篤美さんら15人が選ばれました。

4月4日、春休み最後の日曜日、満開の桜に誘われて名古屋市、東山公園には9万人の人たちが訪れました。ミス・カメラに群がるカメラマン。美女が動けば、カメラマンも大移動。花と美女と、春らんまんのお花見サンデーです。

中日、快調なスタート

プロ野球開幕

“球春”の幕開け——プロ野球公式戦は4月3日オープン。新装なつた名古屋球場では中日～大洋戦が行なわれました。

呼び物、始球式は少年ドラゴンズ会員水谷実君と石塚康志君のバッテリー。試合は中日がエース星野仙をマウンドに送れば、大洋も負けじとエース平松をくり出し、両エースの好投でスコアボードには零が並びます。

7回の裏、平松が突然乱れ、中日は井上、島谷、水俣が四球で歩き、ツーアウトながら満塁と絶好のチャンス。バッターは星野。しかし星野はショートゴロに倒れ、中日おいしいチャンスをつぶします。8回の裏、正岡の三塁ゴロをゲーリーがエラ。ローンが送ってバッター高木守道。高木への一球目、正岡が三塁ヘスチール。すかさず気落ちした平松から高木がセンター前ヘタイムリーヒット。中日、貴重な一点をあげました。力投する星野仙。最後のバッター、長崎を打ちとり、ゲーム・セット。星野は完封で初戦を飾り、中日は快調なスタートを切りました。